

おまつり
わたがし

7級 大槻 一禾

草むしりの
お手つだい。

準特級 長田 和乃葉

ペンを使って
手紙を書いた。

準特級 宮井 さくら

台風が九州の
南部をおそう。

特級 辻 穂乃香

すずしい風がふき虫
の鳴く声が聞こえて
秋の気配を感じる。

準特級 太田 瑛心

五山の送り火は東山の
大文字から点火され
京の夜空をいろどる。

1級 吉岡 仁瑚

人間が最も美しいと感じる
比率が黄金比。建築物や
デザインに広く使われる。

準六段 松井 美桜

おまつり
わたがし

2級 高木 桜

草むしりの
お手つだい。

準特級 池田 ほん花

ペンを使って
手紙を書いた。

1級 岡崎 ひさし

台風が九州の
南部をおそう。

準特級 知念 咲歩

すずしい風がふき虫
の鳴く声が聞こえて
秋の気配を感じる。

1級 鈴木 俊五郎

かつて夏の氷は大変な
貴重品で保存や運搬に
多大な労力を要した。

準六段 太田 百々帆

人間が最も美しいと感じる
比率が黄金比。建築物や
デザインに広く使われる。

五段 吉川 心結

カタカナを
おぼえる。

5級 宋 はるき

草むしりの
お手つだい。

1級 山本 まなみ

ペンを使って
手紙を書いた。

2級 石田 千晴

台風が九州の
南部をおそう。

1級 藤井 てる

五山の送り火は東山の
大文字から点火され
京の夜空をいろどる。

初段 藤田 一花

かつて夏の氷は大変な
貴重品で保存や運搬に
多大な労力を要した。

五段 松山 愛緒音

人間が最も美しいと感じる
比率が黄金比。建築物や
デザインに広く使われる。

準五段 中田 宙花

カタカナを
おぼえる。

6級 野原 禾楓

草むしりの
お手つだい。

2級 井ぬき そう介

ペンを使って
手紙を書いた。

3級 寺尾 綾夏

すずしい風がふき虫
の鳴く声が聞こえて
秋の気配を感じる。

初段 長田 陽

五山の送り火は東山の
大文字から点火され
京の夜空をいろどる。

準初段 谷 和香奈

かつて夏の氷は大変な
貴重品で保存や運搬に
多大な労力を要した。

準五段 佐々木 綾乃

盤上で最善と信じる一手
を追求し戦う棋士の闘志
と気魄に感銘する。

準六段 岡田 有弘

カタカナを
おぼえる。

7級 白井 小春

草むしりの
お手つだい。

3級 松村 みずき

台風が九州の
南部をおそう。

初段 いぬい 日香理

すずしい風がふき虫
の鳴く声が聞こえて
秋の気配を感じる。

準初段 松居 璃音

五山の送り火は東山の
大文字から点火され
京の夜空をいろどる。

特級 坂田 美珂

かつて夏の氷は大変な
貴重品で保存や運搬に
多大な労力を要した。

四段 清野 珠寿

盤上で最善と信じる一手
を追求し戦う棋士の闘志
と気魄に感銘する。

五段 古田 万由

カタカナを
おぼえる。

8級 川島 のあ

ペンを使って
手紙を書いた。

特級 立花 和心

台風が九州の
南部をおそう。

準初段 辻 優香

すずしい風がふき虫
の鳴く声が聞こえて
秋の気配を感じる。

特級 内堀 璃奈

五山の送り火は東山の
大文字から点火され
京の夜空をいろどる。

準特級 堀川 みなみ

かつて夏の氷は大変な
貴重品で保存や運搬に
多大な労力を要した。

準四段 柳田 花栄

盤上で最善と信じる一手
を追求し戦う棋士の闘志
と気魄に感銘する。

準五段 松本 美樹